

総連会長⇒地区連会長⇒支部長⇒会員各位

令和3年11月2日
白鳩会大阪教区連合会
会長 房本喜久美

白鳩会便り No.63

合掌、ありがとうございます。

秋晴れの美しい季節となりました。皆様には、お変わりなくお過ごしでしょうか。

皆様からお祈りをして頂きまして、コロナもずいぶん落ち着いてまいりましたが、いましばらくは感染拡大防止策を取って頂きたいと思います。

そして、良く寝る、発酵食品を食べる、太陽に当たって体を動かす、入浴などで体を温めるなどが免疫力の活性化には良いようでございます。そして、何よりも朗らかに笑って生きる日時計主義の生き方を続けることが免疫力アップには欠かせません。

来年も、日時計日記を活用して、日時計主義の生き方を実践して参りましょう。

2022年度版 日時計日記が入荷致しました。

白鳩会員のみならず、今年お世話になった方やもっとお幸せになって頂きたい方々へ「祈りの叶う日記です」とお渡しください。もちろん、普通の日記としてもお使いいただけます。毎ページごとに上段に真理の言葉が書かれていますので、きっと書いてくださる方の気持ちを明るくしてくれます。一人でも多くの方のお手元に日時計日記が届きますように、よろしく願いいたします。

また、11月12日（金）には、13時～13時50分まで、ユーチューブ配信で「聖使命会員拡大のためのネットフォーラム」が開催されます。体験談集を皆様のところにお届けしています。どうぞ、聖使命のご推進にご活用ください。また、当日にも3名の方に体験談をして頂きます。地元の方と3名以内で集まってご覧いただくことも出来ますので、お誘い合わせてご覧ください。

そして、いよいよ12月10日（金）午後1時半からはユーチューブ配信で「新しい文明の構築に向かって 繋がる喜び白鳩会員ネットフォーラム」が開催されます。白鳩会長・佐藤香奈美先生より組織指導をして頂きます。久しぶりの佐藤先生のご指導でございます。しっかりと学ばせて頂きたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしています。

今日は、谷口雅春先生著『幸福生活論』165頁よりご紹介いたします。

「人間神の子の自覚がうすれて来たときに、人は禍（わざわい）に墜落する。病気も不幸も其処から出るのであります。人間神の子の自覚が永続しないのは神想観が足りないからだと思えます。道元禅師は「祇管打坐（しかんたざ）」と云われました。祇管坐る（ひたすらすわる）ことが必要なのであります。生長の家へ来て、話を熱心にきく人でも、神想観の時間になると帰ってしまう人がある。これは話よりも、神想観の方が尊い行事であると言うことを知らぬ人でありませう。」

とご指導くださっています。私たちは、コロナの自粛期間に、三正行をしっかりと実践させていただきながら、神の子の自覚を益々深めて参りましょう。再拝